



みずほ市議会だより

災害から
市民を守る

★Contents★

- 2 新しい議会構成
- 4 議案をチェック!
- 6 議会基本条例推進特別委員会 中間報告
- 7 議案の審議結果
- 8 一般質問
- 16 水防訓練・牛牧排水機場完成式典

令和7年 第1回臨時会(5月16日)

街路灯等照明LED取替工事請負契約の締結
財産(GIGAスクール端末)の取得等を審議・可決

令和7年 第2回定例会(6月6日～6月27日)

令和7年度一般会計補正予算
事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書等を審議・可決

新たな体制でスタート!!

6月6日、令和7年第2回定例会において、新議長・副議長が選任され、議会運営委員会及び3つの常任委員会（総務委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会）の構成が決められました。また、議会選出の監査委員が選任されました。

議長 今木啓一郎 議員・副議長 若原達夫 議員を選出

議長・副議長の各選挙において、立候補議員が所信表明を行ったあと、投票により決定しました。

【投票結果】

○議長

今木啓一郎	12票
馬淵ひろし	6票

○副議長

若原達夫	14票
鳥居佳史	1票
無効票	3票

就任のあいさつ

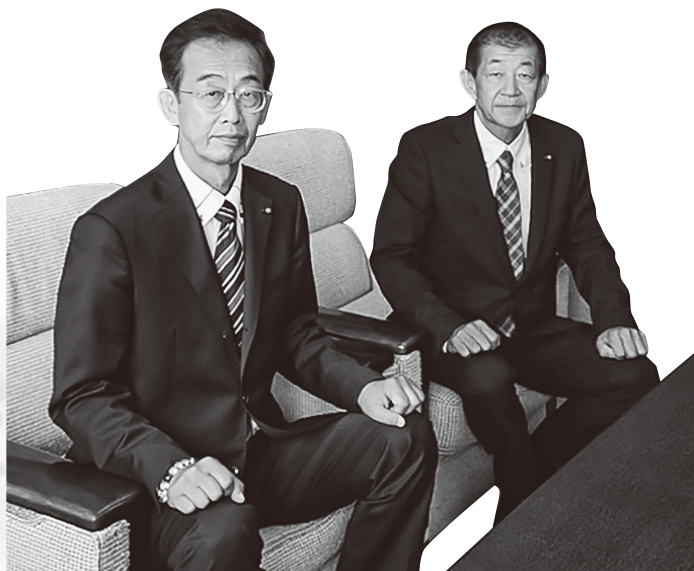
6月議会において、議長を務めさせていただくこととなりました。現在、私たちのまちは、人口増加の鈍化や地域構造の変化など、大きな転換期を迎えています。そうした中、下水道の整備や新庁舎の建設、JR穂積駅周辺の再開発など、まちの将来を左右する重要なプロジェクトが動き出しています。これらの課題に的確に対応していくためには、議会が従来の「行政のチェック機関」とどまらず、市民とともに未来を描く『政策提言機関』として、より一層力を発揮していくことが求められると考えます。

議長として、公正な議会運営に努めるとともに、議員間の合意形成を丁寧に進め、その責任をしっかりと果たしてまいります。どうぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議長 今木 啓一郎

今木 啓一郎 議長

若原 達夫 副議長



監査委員を選任

議会選出の監査委員に欠員が生じたため、新たに森清一議員が選任されました。



森 清一 議員



議会運営委員会



広瀬 守克 森 清一 馬淵 ひろし
◎庄田 昭人 ○関谷 守彦

【所管事項】

議会の会期日程や議案・請願などの取扱い、議長の諮問事項などについて協議



常任委員会

総務委員会



鳥居 佳史 若原 達夫 馬淵 ひろし
庄田 昭人 ◎広瀬 守克 ○宮川 頌健

【所管事項】

企画部、総務部、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会並びに他の常任委員会への所管に属さない事項についての審査

【継続調査】

- ① 自治体DX活用
- ② 住民自治
- ③ 第3次総合計画



産業建設委員会



今木 啓一郎 若井 千尋 今井 充子
杉原 克巳 ◎藤橋 直樹 ○関谷 英樹

【所管事項】

都市整備部、環境経済部、上下水道部、農業委員会の所管に属する事項についての審査

【継続調査】

- ① ゴミの減量化
- ② 駅周辺の再開発



文教厚生委員会



北村 彰敏 横田 真澄 棚橋 敏明
森 清一 ◎若園 五朗 ○関谷 守彦

【所管事項】

市民部、健康福祉部、城南庁舎管理部、教育委員会の所管に属する事項についての審査

【継続調査】

- ① フリースペース等の居場所づくり
- ② 指定管理者制度



◎=委員長 ○=副委員長 名前は写真左上から掲載しています

👉 議案をチェック!

古橋遊水池 整備工事請負契約の変更

令和4年8月31日に議決された本事業契約について、当初短尺鋼矢板を搬入し現地で溶接する予定でしたが、地元地権者の協力が得られ長尺鋼矢板を直接搬入できることになったため、施工にかかる経費削減と、それに伴い交通誘導員の削減も可能となりました。契約金額は**437,800,000円**から**414,096,100円**へ変更となり、**約2,300万円**の減額となりました。

なお、この工事の遊水池工事は完成しており、6月より試験運転をしています。中央部分の道路に関しては通行可能になるのは今年度末の予定です。

Q どれだけの雨量を想定し、どれだけの対応ができるのか。

A 5年に一度起こり得る大雨に対し、概ね26分程度の雨量を調整できる計算である。

Q 転落防止の防護柵など配慮はされているか。

A 遊水池の周囲には高さ1.8メートルのフェンスを設置済みである。



古橋遊水池

一般会計補正予算(第3号) 給食費に対する補助

令和7年度一般会計補正予算(第3号)が可決され、給食費に対する補助が決定しました。お米など食料品価格の高騰の影響を一番受けている子育て世代への支援を行うというもので、7月分の小・中学校などの給食費2,900万円を免除するものです。また、賄材料代の上昇分1,800万円を保護者負担にすることなく、市の財源で補填するものです。

これらの財源は、政府の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の2,100万円と、市の独自財源である「ふるさと応援基金」から2,600万円の繰入で賄われます。

給食費の免除は昨年度12月分から3月分の免除に引き続いての取組となります。

Q 当初予算で組んだ材料代がどの程度増えているのか。

A お米10キロあたりの単価は昨年度3,834円であったものが、今年度は6,674円となり74%アップし、1,400万円上昇している。また、牛乳も350万円上昇している。

Q 本来であれば、7月分の給食費はいつ徴収されるのか。

A 通常7月中旬ごろ口座から引き落としされる。間に合うよう処理を進める。



7月18日の給食
(岐阜県の食事)

第1回臨時会

第2回定例会

財産(トイレカー)の取得 災害時の備えとして「トイレカー」導入へ

5月の臨時議会において、災害時やイベント時などに活用できる自走式の仮設トイレ「トイレカー」の購入に関する補正予算(第1号)が提案され、繰越明許費を含めて可決されました。

この繰越明許は、当該トイレカーが受注生産であり、車両の製造と設備の艤装に12か月以上を要することから、令和7年度内に納車ができないため、翌年度への予算繰越が必要と判断されたものです。その後、6月定例会では議案(財産の取得)が提案・可決され、契約相手および金額等が正式に決定しました。

このトイレカーは、避難所等での衛生環境の改善や災害時のトイレ不足対策として導入されるもので、市民の安心・安全に資する重要な取組となります。納入期限は令和9年3月31日です。

Q 最大何回利用できるのか。

A 約1,000回使用できる。

Q トイレカーのラッピングも契約金額に含まれているのか。こういったデザインにするのか。

A ラッピング代も契約金額に含まれている。みずほバスなどを参考にきりんや特産物などのデザインを考えている。



トイレカー(イメージ) ※写真は岐阜県のトイレカー

事前復興まちづくり計画の 策定支援を求める意見書

本市議会は、近年頻発する大規模災害に備え、復興の迅速化を図るため、あらかじめ「事前復興まちづくり計画」の策定を支援するよう、国に対して意見書を提出しました。

この意見書では、被災直後からの円滑な復興を可能とするには、平時からの準備が不可欠であること、また、住民の参画による地域に即した復興ビジョンの策定が重要であることを訴えています。

市が主体となって計画を立てるためには、国の財政的・技術的な支援が必要であり、それを強く求める内容となっています。

Q 事前復興まちづくり計画を策定した自治体被災し、計画が生かされた事案はあるか。

A そのような事例は把握していないが、自治体によって起こりえる災害は異なるため、想定外をなくし、災害を想定内で受け止めていかなければならない。

Q 当市における復興事前準備の取組状況は。

A 昭和51年の水害以来、当市は大きな災害がない。まち全体が防災に対して取り組んでいかなければならないと思うが、現在、まだ着手されていないと聞いている。



議会基本条例推進特別委員会

中間報告

委員会を補完する協議等の場として、令和6年9月27日に設置された2つの部会（令和7年6月設置期間満了）。これまでの各部会における活動と今後について報告します。

意見交換会部会

目的

- 意見交換会の運営方法等を検討

活動内容

- 新たな意見交換会開催方法の検討
- 市PTA連合会との意見交換会の開催

結果

これまでワークショップ形式で意見交換会を開催していたが、より意見交換を活性化させるため、途中でグループをシャッフルするなど新たな手法を取り入れて市PTA連合会との意見交換会を開催しました。今後は意見交換会で得た意見を取り入れ議員活動に生かしていきます。



研修部会

目的

- 議員能力向上の為に議員研修の充実強化
- 議会基本条例の目的が達成されているか調査、検討

活動内容

- 議員研修1回
テーマ：議会基本条例の今と瑞穂市議会
講師：自治体議会研究所 代表 / 高沖 秀宣
- 議員アンケートによる議会基本条例の評価

結果

議員研修において、本市議会の改善点について指摘があり、その後、議員アンケートを実施しました。その結果、議会基本条例について定期的な評価、見直しを行い、今後も市民への説明責任を果たすべく議会活性化の為に制度等を充実する方向で検討を進めます。



部会設置 令和7年6月27日～

意見交換会部会

部会長 鳥居 佳史
副部会長 横田 真澄
部会員 若園 五朗 棚橋 敏明 若原 達夫
藤橋 直樹 宮川 頌健

- 意見交換会の運営方法等の検討

研修部会

部会長 庄田 昭人
副部会長 若井 千尋
部会員 杉原 克巳 馬淵 ひろし 関谷 守彦 広瀬 守克
今井 充子 関谷 英樹 北村 彰敏

- 議員能力向上の為に議員研修の充実強化
- 議会基本条例の目的が達成されているか調査、検討

議員研修 各種研修に参加しました

市町村議会議員研修

場所：全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）
テーマ：新人議員のための地方自治の基本（5/7～5/9 1名）
自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～（5/19～5/20 1名）

地方議会セミナー

場所：としま区民センター（東京都豊島区）
テーマ：広報の枠組みと広報戦略・議会広報紙の企画と編集（7/31 4名）

令和7年第1回臨時会 議案の審議結果

議 案 名 等			議員名(会派別) (◎は会派代表者)	議決結果	有	創緑会						有	新	公	み	共	市	維	無会派				議決月日
					◎庄田昭人	◎広瀬守克	森清一	若原達夫	藤橋直樹	今井充子	横田真澄	宮川頌健	今木啓一郎	◎若園五朗	◎若井千尋	◎杉原克巳	◎関谷守彦	◎鳥居佳史	◎北村彰敏	棚橋敏明	馬淵ひろし	関谷英樹	
市長提出議案	承認第2号	瑞穂市税条例の一部を改正する条例についての専決処分について	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5/16	
	承認第3号	瑞穂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例についての専決処分について	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	5/16	
	議案第28号	街路灯等照明LED取替工事請負契約の締結について	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5/16	
	議案第29号	財産(GIGAスクール端末)の取得について	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5/16	
	議案第30号	財産(小学校・保育所事務用パソコン)の取得について	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5/16	
	議案第31号	財産(行政用クライアントパソコン機器)の取得について	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5/16	
	議案第32号	瑞穂市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	5/16	
	議案第33号	令和7年度瑞穂市一般会計補正予算(第1号)	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5/16	

議長は採決に加わりませんので、「—」で表示してあります。(議長 庄田 昭人)

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、棄…棄権、除…除斥

有…有隣クラブ、新…新生クラブ、公…公明党、み…みずほ令和の会、共…日本共産党、市…市民の会、維…日本維新の会

令和7年第2回定例会 議案の審議結果

議 案 名 等			議 決 結 果	有	創緑会						有	新	公	み	共	市	維	無会派				議 決 月 日
					◎ 今 木 啓 一 郎	◎ 広 瀬 守 克	森 清 一	若 原 達 夫	藤 橋 直 樹	今 井 充 子								横 田 真 澄	宮 川 頌 健	◎ 庄 田 昭 人	◎ 若 園 五 朗	
議員・委員会提出議案	議 案 第7号	事前復興まちづくり計画の策定支援を求める意見書	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/27
	議 案 第34号	瑞穂市固定資産評価員の選任について	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6
	議 案 第35号	古橋遊水池整備工事請負契約の変更について	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/27
	議 案 第36号	瑞穂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する 条例の一部を改正する条例について	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/27
	議 案 第37号	瑞穂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営 に関する基準を定める条例及び瑞穂市家庭的保育事業等の 設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する 条例について	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/27
	議 案 第38号	瑞穂市給水条例及び瑞穂市下水道条例の一部を改正する 条例について	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/27
市長提出議案	議 案 第39号	令和7年度瑞穂市一般会計補正予算(第2号)	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	6/27
	議 案 第40号	令和7年度瑞穂市後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第1号)	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/27
	議 案 第41号	瑞穂市監査委員の選任について	可	—	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6
	議 案 第42号	瑞穂市教育委員会の委員の任命について	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/16
	議 案 第43号	財産(トイレカー)の取得について	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/27
	議 案 第44号	財産(小中学校電子黒板OS)の取得について	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/27
	議 案 第45号	瑞穂市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び瑞穂市職員の 育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/27
	議 案 第46号	令和7年度瑞穂市一般会計補正予算(第3号)	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/27

議長は採決に加わりませんので、「—」で表示してあります。(議長 今木 啓一郎)

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、棄…棄権、除…除斥

有…有隣クラブ、新…新生クラブ、公…公明党、み…みずほ令和の会、共…日本共産党、市…市民の会、維…日本維新の会

審議結果は
こちら▶





せき や もり ひこ
関谷 守彦 議員

駅南地区土地区画整理事業

Q 区画整理事業の議会への提案など今後の予定は。

A 市が施行者となり事業化に向け、計画案の作成を進めている。また、地権者協議会の開催や意向確認のための個別説明会の開催に努めている。今年度末から来年度当初の事業認可を目指しており、9月議会をめぐりに施行規程に関する説明を予定している。

(都市整備部調整監)

Q 総事業費はどの程度か。また、国の補助は。

A 事業計画案には、全体事業費も含まれてくるので、策定の段階で説明させていただく。

(都市整備部調整監)

監査委員事務局

Q 4月の人事異動で行政をチェックする議会事務局と監査委員事務局の併任を行い、職員数を減らした。監査の役割は、自治体の行為が市民に不利益を生じさせないかを行政から独立した立場で検証することに意

義がある。監査委員事務局を長期的に育てていく観点があるのか。

A 職員の人事異動はそれぞれの理由がある。事務引継ぎだけでできないときは、都度連携している。

(副市長)

Q 合併当時、両事務局は併任しており、職員定数条例に規定されていた。今回、条例改正することなく併任を命じたのは条例違反ではないか。

A この条例では、併任できないという規定はない。

(総務部長)

A 一番の課題は職員数の減少。今後の職員採用状況をみながら、年内には結論を出したい。

(市長)



駅前広場構想図

小中学校のプログラミング教育はどのように行われているか

論理的思考力、問題解決能力、情報活用能力等を育むために、各教科の特性に合わせて様々な形で実施している



わか ぞろ ころう
若園 五郎 議員

都市整備部長の職務

Q 瑞穂市が抱える課題とそれに対する取組は。

A 市内に働く場所が少ないのが課題である。地の利を生かした企業誘致等を見据え、まちづくりの取組を進めていく必要がある。(都市整備部長)

瑞穂市こども計画

Q 「瑞穂市こどもまんなか応援サポーター」として令和7年度からの取組は。

A こども計画に今後の施策を列記している。その一つとして子どもたちが気軽に立ち寄れる場所として、ココロかさなるCCNセンター2階をフリースペースとして整備する。(健康福祉部長)

安心安全なまちづくり

Q 中学生の自転車通学に対する指導は。

A 年度初めに自転車の安全点検を実施し、その際に自転車の正しい乗り方や交通ルールなど、交通安全に対する意識の喚起を図っている。(教育長)

Q 牛牧排水機場完成に伴う犀川遊水地事業の今後の計画は。

A 五六川の河道付替工事が進められ、旧牛牧排水機場の撤去後、犀川の築堤護岸工事が実施される。また、県の事業では五六閘門を保存しつつ、狭窄部を解消しながら国が整備する付替え河道に接続する予定と伺っている。

(都市整備部長)

水道管老朽化対策

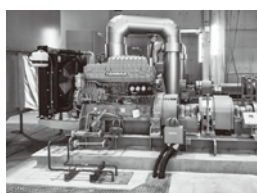
Q 上下水道管整備計画及び料金見直しの考えは。

A 下水道管については、耐震対策済みである。水道施設については、重要給水施設連絡管について老朽化対策と併せた耐震化を重点的に行いたい。水道料金については、今後の状況を踏まえ、使用者の適正な負担としての在り方から検討をする。

(上下水道部長)

その他の質問

公共交通の利便性向上の新たな取組は等



新牛牧排水機場が完成
(犀川流域の浸水被害軽減)



野球場・サッカー場など体育施設の整備は



(市長)

必要な施設は整備しなければと考える。補助など調査し計画を立て、事業ヒアリングシートに載せ進捗確認する



ひろ せ もり かつ
広瀬 守克 議員

Q 穂積グラウンドの一部を芝生化することについての考えは。

A スポーツ振興くじ助成金の活用を検討していたが、財産処分の制限の項目を遵守することが現段階で不透明であることと判断し、令和7年度の予算計上は見送っている。(教育委員会事務局長)

Q 来年度以降の体育館の空調設備の設置は。

A 国等の補助金が活用できるのであれば令和8年度に5校一斉に整備したいが、財政状況を鑑みながら検討する。(教育委員会事務局長)

Q 今後、体育施設を集約する計画は。

A 個々の施設ごとに維持管理する中で必要に応じて修繕を行っているのが現状であり、集約等の計画はない。(教育委員会事務局長)

ふるさと納税

Q ふるさと納税の減額理由と改善策、また今年度の目標額は。

A 同一商品を提供する他自治体との寄附金の低



価格競争による流出が一番大きな要因である。今後の取組として既存主力返礼品のブラッシュアップ、寄附募集サイトのイメージ写真の見栄えを向上させ、競合他自治体の動向についても確認を行い随時対策を講じていく。今年度の目標寄附額は当初予算額である6億円を目指す。(企画部長)

Q 新たな特産品の考えは。

A 新規事業者4社と返礼品60品目の取り扱いに向けて進めており、豆乳や農産物に限らず、日用品、スポーツ用品、健康サプリや体験型の返礼品など様々なジャンルの商品を開拓している。さらに、引き続き新規返礼品の開拓に注力し、バリエーションの拡充を図る。(企画部長)



平日放課後の校区に1つの子どもの居場所確保は



(教育委員会事務局長)

老朽化した小学校体育館の建替えを見据え、自治会、子どもの居場所併用の空間を創出するモデル校も検討する



ま ぶち
馬淵 ひろし 議員

Q 安心して遊べる放課後の居場所を増やすための取組は。

A こども計画で全ての子どもが安全に過ごせる居場所づくりを施策目標に掲げ、今年5月より本田小学校で放課後子ども教室「にじっこ本田」を実施しており、今後は毎日開催できるよう関係者と調整し、他の校区にも順次進めていきたい。また、ココロかさなるCCNセンター2階に子どもたちが気軽に立ち寄れるフリースペースを整備する。(教育委員会事務局長)

Q 市に二つの大きな子育て施設の整備は。

A 長期的構想となるが、新庁舎が建設され、現在の巢南庁舎が空いた際には、現在進めているサンコーパレットパークを中心とする指定管理に組み入れ、子ども連れの若い世代や子どもたちが二日遊べる「仮称」子どもの国みずほ」をつくるような構想も進めていきたい。(教育委員会事務局長)

都市マスタープラン改定

Q 都市計画マスタープラン



本田コミュニティセンター

その他の質問
議会事務局と監査委員事務局の併任について

Q 市長が考える瑞穂市の将来像は。

A 穂積駅を拠点とした二定エリアに絞り、コンパクトシティ構想として福祉、医療、住宅などを誘導し、公共交通でネットワーク構築するようなまちづくりにより、にぎわい、人口減少対策に繋がると考える。(市長)

ラン改定の進捗状況は。

A 現行計画の目標年次である令和7年度末の改定に向け進めてきたが、県からの助言を踏まえ、まちづくりの課題整理、目標検討を考慮しており、令和8年度中の策定も含め調整している。(都市整備部長)



ふじ はし なお き
藤橋 直樹 議員

Q 水道管路の耐震化事業についての市の計画は

A 来年度以降の数年間で各水源地の導水管や別府水源地に直結した配水管の耐震化を重点的に進める
(上下水道部長)

Q 水道管の耐震化の状況は。
A 重要給水施設連絡管9キロメートルでは77%、配水支管26.8キロメートルを含めた配水管全体では11%の耐震化率である。(上下水道部長)

Q 給水車の購入は。
A 国の財政支援の制度ができたので、総合的な観点から前向きに検討する。(上下水道部長)

Q 耐震シエルターの補助は。
A 本市においても、経済的な理由により耐震補強工事の困難な方に対し、耐震シエルター等の設置に対する補助金制度を令和8年度から開始する予定である。(都市整備部長)

福祉関連事業

Q 带状疱疹の予防接種の詳細は。
A 予防接種のワクチンは生ワクチンと不活化ワクチンの2種類あり、いずれのワクチンも带状疱疹や合併症に対する予防効果が認められている。接種の自己負担は、生ワ



クチン2,500円、不活化ワクチンは2回接種が必要で、1回の接種につき6,500円である。(健康福祉部長)

Q 高齢者補聴器助成の詳細は。
A 瑞穂市高齢者補聴器購入助成事業については今年度4月1日から事業をスタートしており、助成対象者は市内に居住する65歳以上の方で、両耳の聴力レベルが40デシベル以上70デシベル未満、聴覚障害の身体障害者手帳を交付されていない方で、申請者本人及び同一世帯に住民税等の滞納がないことを要件とし、助成金額は購入費の2分の1で4万円を上限としている。(健康福祉部長)

Q 男性へのHPVワクチン接種の助成をどのように考えるか

A 国における男性への定期接種化の有無や時期などの議論の結果が示された段階で検討する
(健康福祉部長)



もり せい いち
森 清一 議員

「瑞穂市ゼロカーボンシティ宣言」の取組
Q 「瑞穂市ゼロカーボンシティ宣言」の具体的施策として、SAF原料となる、特に家庭や飲食店から出る廃食油の回収について、どう考えるか。
A 廃食油をSAFに利用するという動きは、ゴミの減量化と資源の有効活用に寄与できる取組であり、当市としても重要な取組となる可能性もあるので、前向きに検討していく。また、エコ・アクション・ポイント化の可能性も併せて検討していきたい。(環境経済部長)

公共下水道と内水浸水
Q 短時間集中豪雨が頻繁に起こる状況の中、公共下水道の果たす役割は何か。
A 公共下水道の目的には、汚水処理と浸水対策があり、浸水対策における公共下水道の役割は主に市街地における雨水を速やかに河川などに排除し、都市の浸水被害を防ぐことで人の命を守ることや、社会経済活動への



影響を最小限にすることである。(上下水道部長)

Q 古橋遊水池は貯水量約5反弱(約4,600m³)だが、古橋地域の内水浸水の原因は宝江川のJR下暗渠部と下流部の狭小水路(堆積土砂、水生植物、木柵護岸等)がネックとなっている。長年の懸案である古橋地区の内水浸水対策を今後どのように考えるのか。
A 豪雨が予想される場合には、増水前に堰板等の撤去や取水ゲートの開放などの対応をする。さらに古橋遊水池の効果検証等も進め、内水浸水に備えたい。最終的には、下流側の河川改修が効果的であり、安八町と連携し、早期改修を岐阜県へ引き続き要望していく。(都市整備部長)

Q クーリングシェルターを活用した暑さ対策は



A シェルターとして庁舎、図書館など公共施設14施設と郵便局、マックスバリュ穂積店を指定した
(環境経済部長)

わか はら たつ お
若原 達夫 議員

Q 熱中症警戒アラートが発令された場合の対策は。
A 市民への注意喚起として、暑さ指数により定期的に防災行政無線による放送を実施している。

(健康福祉部長)

A 学校では、運動は原則中止、外での活動も極力避けている。また、アラート発表の有無に関わらず、活動場所における熱中症の危険度、暑さ指数を計測、把握して県教育委員会作成の熱中症対策ガイドラインにのっとり適切な対応を行っている。

(教育長)

Q 登下校時の子どもたちの暑さ対策は。

A 水筒の持参、日傘の利用、首に冷たいタオルを巻く、体を冷却する製品などの使用、熱をため込まない服装の選択などを学校から児童・生徒や保護者に啓発している。また、下校前に必ず水分補給をすること、通学路上での水分補給を行う場所の確認を児童・生徒に指導している。(教育長)



Q 小学校体育館へのエアコンの設置予定は。

A 昨今の温暖化による気温上昇を考えると早急に整備する必要がある。国等の補助金が活用できるのであれば令和8年度に5校を一齐に整備したいが、財政状況をみながら検討する。

(教育委員会事務局長)

Q 子どもたちの雷に対する安全対策は。

A 天候の急変、雷鳴が聞こえたとき、厚い黒雲が広がってきたときなどは落雷の危険性があるため、体育の授業や部活動など、屋外での教育活動を速やかに中止し、安全な場所に避難することを指導している。(教育長)

Q 工夫や既存の仕組みを活用し土曜保育終日化を進めていくべきでは



A 共同保育や弁当持参などの方法であれば実現することができる。令和8年4月より実施できるよう調整している
(教育委員会事務局長)

きた むら あき とし
北村 彰敏 議員

育休退園制度の現状と見直しの検討

Q 育休退園制度は子どもにも保護者にも大きな負担となるが、市はどのように捉えているか。

A 受け皿が足りておらず、育休延長が可能な復帰予定者と、確実に育休に入る方どちらを優先するかを判断する必要がある。不合理との意見も理解するが、状況を緩和・見極めながら対応するしかない。

(教育委員会事務局長)

Q 年齢によらず継続利用を認める方向への制度見直しの可能性について、市の考えは。

A 年齢により差が出ていることや調整の複雑さで混乱を招いていることは申し訳なく感じており、今後もニーズのバランスを見ながら緩和拡大と受入れ枠の拡大に努力していきたい。

(教育委員会事務局長)

地域の声を踏まえた公園環境の改善

Q 衛生面での課題が複数の公園で共通して発生している中で、今後の

管理体制や対応方針は。

A ごみのポイ捨てが多く見受けられ、委託業者や職員による対応を実施している。今後は見回りや看板設置の啓発に加え、他自治体の対策も参考に研究を進める。

(都市整備部調整監)

Q 防犯カメラの設置目的とその運用体制、通報があつた場合の映像確認やその後の対応は。

A 都市公園などに防犯カメラを設置し、条例等に基づき適正に運用している。通報や捜査要請時には捜査機関に画像を提供し、犯罪抑止や事件解決に一定の効果を発揮している。

(都市整備部調整監)



Q 公共事業による市債の現状と今後は

A 新庁舎と穂積駅圏域拠点整備事業の総事業費が未算出だが、財政健全化法による各指標を確認し、進めていきたい
(総務部長)



とり い よし ふみ
鳥居 佳史 議員

市債について

Q 令和5年度市債残高109億円の主な返済事業は何か。金利は含まれているか。

A 主なものは臨時財政対策債であり、金利相当分は、令和5年度末で1億5,119万509円である。
(総務部長)

自治会による水路清掃

Q 自治会による水路清掃について困難さや疑問を持つ声があるが、今後のやり方の考えは何か。

A 地域のことは地域で取り組むという考えの下、地域の共同活動として実施していただいており、瑞穂市を清潔で美しいまちにする条例に基づき、自治会や区の水路管理活動の一つとしてお願いしている。今後も水路複雑面化や泥だめピットの設置など水路清掃しやすい構造に改造していく。
(都市整備部長)

Q 水路に堆積している汚泥の処理を市に要望することは可能か。

A 場所や状況にもよるが、現地確認し、堆積量



市内の水路

の多い箇所、暗渠になっている箇所に関しては、バキューム等手配し、撤去させていただく。
(都市整備部調整監)

予算説明会

Q 説明の仕方は、要点を絞るなど工夫し、意見交換の時間を多くとるようにしてはどうか。

A 市民や運営サイドからも様々な意見があったため、来年度の予算説明会では、いただいたご意見を参考に、より多くのご意見をいただけるような構成を検討していきたいと考えている。
(企画部長)

Q 「Z世代の目線でのまちづくり」について市の考えは

A 地域を支える10代、20代の若い世代の感性や発想をまちづくりに生かすことは極めて重要だと認識している
(企画部長)



わか い ち ひろ
若井 千尋 議員

Q まちづくり、国づくりのための人づくりについて市長の考えは。

A 個人の成長が組織全体の成長につながることを、市職員には、やりがいがあり、スキルアップが図れ、それぞれが学びあえる組織づくりが大切と考える。
(市長)

カスタマーハラスメント

Q 市民の声をより良い解決に向けて公平なルールが必要と考えるが現時点での執行部の考えは。

A 令和7年6月4日に改正労働施策総合推進法などが成立し、令和8年中に施行される。国からの情報を注視しつつ、カスハラ定義をはじめ、組織のルールを整え市民の皆様との円滑な対話と、職員が安心して就業できる環境整備を進めていく。
(総務部長)

「献血」の大切さの教育

Q 献血の大切さの教育はどのように行っているか。

A 献血は大切な命を救う行為の一つとして、若い年齢からいろんな場で触



樽見鉄道

れていくことは非常に重要であると考えます。献血に関する冊子などを有効的に活用し、献血の担当課、教育委員会、日本赤十字社と連携して、献血の理解増進の周知に努めたい。
(健康福祉部長)

樽見鉄道

Q 樽見鉄道を通して当市のアピールは。

A 美江寺駅には中山道を散策する方向けに宿場内の史跡等の案内図を掲載している。令和5年度にはふるさと納税のクラウドファンディングで、「TARUTETSU 樽見鉄道」応援プロジェクトとして瑞穂市をアピールした。今後もSNS等で市の魅力の一つとして発信していく。
(企画部長)



児童生徒のスマホ利用のガイドライン策定の予定は



(教育長)

市としてのガイドラインやルールは設けていないが、学年の発達段階に応じて正しい利用を指導している



いま い みつ こ
今井 充子 議員

市職員の働き方改革と人材確保・育成の現状と今後の取組

Q 市職員の働きやすさ向上とワークライフバランスの推進は。

Q 市内各学校における教員の充足率は。

A 本市においては100%過不足なく配置している。また、短時間勤務や部分休業制度を活用している教員もいて勤務の形態が多様化している。先生方一人一人が職務に専念できる環境づくりに努めていく。

(教育長)

教員の確保と育成に関する現状と今後の取組

Q スマホの使い方にについて家庭との連携は。

A スマホ利用に関する指導は学校だけでなく保護者の協力なくして大きな成果は得られない。昨年度も保護者との連絡システム「すぐる」を通じて、ネットの使い方、家庭でのルール作り、フィリタリングの活用など啓発を行った。

(教育長)



Q 市職員の人材育成の在り方は。

A 職員同士が連携し、協力し合い、それぞれの立場を尊敬し、仕事は楽しくスピード感を持って、市民目線と感謝を忘れずに、丸となって仕事に当たる人材育成を進めていく。

(市長)

A 市民サービスの向上や業務の効率化、人員不足を補う手段としてDXの推進に取り組んでいる。また瑞穂市人材育成基本方針にあるとおり、柔軟で多様な勤務体系で働きやすい環境の整備や働き方改革を進め、全職員のワークライフバランスの実現と組織全体の業務の効率化を目指している。

(総務部長)



JR穂積駅の改札前や駅舎などにデジタルサイネージ設置の考えは



(企画部長)

JR東海や民間事業者との協議、駅周辺の土地区画整理事業の進捗状況と連携を図りながら設置したい



みや がわ しょう けん
宮川 頌健 議員

都市計画マスタープラン策定

Q 犀川遊水地の今後の整備活用の方性は。

A 犀川遊水地グリーンインフラ基本構想に示されている各種広場や乗り

生成AIの活用

Q 現在検討中、実施中の事業は。

A 文書生成AIに関するトライアル運用の実績があり、その際の課題を基に予算を計上の上、本格導入につなげていく。10月には議事録AIシステムの導入、チャットボットの機能の充実について生成AIの導入を進めていく。

(総務部長)

Q デジタルサイネージの駅前常設について、どのような価値や意義を見いだしているのか。

A 穂積駅は1日に約1万7,000人が利用するので、駅改札前へのデジタルサイネージは、アナログ的な掲示物の貼り替え手間の削減や、最新でタイムリーな情報発信ができるため、瑞穂市をPRするには大変有効なものだと考える。

(企画部長)



Q 市長のまちづくりに対する基本的な考え方とビジョンは。

A 第3次総合計画のキーワード「こども」「住みやすさ」「安心」「都市」、それぞれが実現することでウェルビーイングみずほの実現につながると考える。都市という観点から、穂積駅があるという点を最大限に生かし、集約する瑞穂市型コンパクトシティとして、都市拠点を公共交通で結ぶということがポイントになる。

(市長)

入れ坂路等の実現に向けて、国との調整を図りながら、河川空間を生かしたにぎわいの創出や交流ができる空間形成を目指す。

(都市整備部長)

Q 米価格高騰による学校給食の価格への影響は

A
(教育委員会
事務局長)

令和7年度は10キロあたり6,674.4円で、前年度対比で1.74倍となっている



せき や ひで き
関谷 英樹 議員

Q 価格高騰により、給食の質やご飯の提供数・給食費などに影響が及んでいるか。

A 引き続き瑞穂市産のお米を提供し、子供たちの成長の保持増進と食育の観点からも今までと変わりなく充実した給食を提供していきたい。また、価格高騰分を一般財源で補填するので、今年度においては給食費の値上げは考えていない。

(教育委員会事務局長)

Q 米価格高騰によるふるさと納税の返礼品への影響は。また、今後どのような対応を取っていくのか。

A 予定した米の在庫数を確保できない状況となり、別の返礼品に代替したり、翌年に発送を繰り越すかを寄附者の皆様にお願いした。今後は生産者である返礼品事業者と連携強化を図り、安定的な供給量を確保できるように調整を進める。

(企画部長)

新庁舎建設

Q 建設場所の第一候補地である、只越地域の市



給食センターでは、主に瑞穂市産のお米を使い調理されています。

街化区域編入に向けて県との協議の手応えは。

A 関係機関との都市計画協議は大変時間がかかるものであり、集約型都市構造実現のための市の方針や集約する公共施設の用途や規模など、論理的な説明を行う必要がある。

(総務部長)

Q 次回開催の新庁舎建設検討委員会でご候補地の概算事業費が公表されるが、公表するタイミングとして適切か。

A 新庁舎建設事業にかかる概算事業費を把握し、財政的な観点から検討を行うとともに、市民の皆様への候補地も含めた概算事業費を示す必要があると考えた。

(総務部長)

Q ハリヨを瑞穂市の魚として認定は

A
(市長)

ほんでんの自然を守る会と協力し、保護活動に力を入れていくためには、瑞穂市の魚としてハリヨを指定することが必要



しょう だ あき ひと
庄田 昭人 議員

瑞穂市のハリヨの状況は。

A 平成28年度以降の調査において市内で生息確認できているのは、給食センター、民間企業、西ふれあい広場、中小学校、五六川支川の5か所である。西ふれあい広場と五六川支川のハリヨはDNA鑑定の結果、純粋な岐阜県産であることが確認されている。ハリヨは環境省のレッドリストにも記載されている貴重な種であるので関係部署と情報を共有し、ほんでんの自然を守る会の皆様のご協力をいただきながら保護活動を行っていききたい。

(教育委員会事務局長)

Q 地域活動を積極的に行う団体への支援は。

A ほんでんの自然を守る会を含む校区自治会連合会に対し、地域振興組織補助金として、主に校区のイベントに係る活動費用の補助を行っているほか、昨年、令和6年度からは防災や福祉を中心とした校区活動のさらなる充実を図るため、補助額を50万円拡充した。



ハリヨの生息地

他の地域においても同様に、校区広報活動として組織的に取り組んでいただくことで地域活動の推進を図っていききたい。

(企画部長)

公私立連携型保育事業

Q 生津校区の公私立連携型保育事業の不安・心配・苦情への対応は。

A 市から施主となる公私立連携法人へ工事着工前に地域住民への説明を必ず行うよう依頼済みである。生津小学校児童の通学の安全性については、保育所への送迎を南からのみとして徹底することにより、児童との接点をなくす配慮を依頼している。万が一のことを考え、馬場公園内を通学路とし、少しでも公道を避け登校できるように配慮する。

(教育委員会事務局長)



中学校の部活動の地域展開について瑞穂市の現状は



(教育長)

市内3中学校で41の部活動の地域展開を目指しており、
現在10の部活動が地域展開を完了している



よこ た ま す み
横田 真澄 議員

Q 防災士会の取り組み

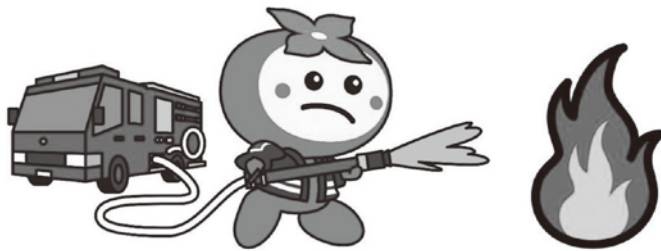
A 来年度から休日の地域展開ができるのか。
A ほとんどの部活動は3年生が引退し、1・2年生での新体制の活動が始まるタイミングでの地域展開を予定している。中にはすぐの地域展開が難しい部活があるかもしれないが、その場合は個別で顧問や保護者と話し合いの場を設けたり、県の人材バンクと連携して指導者を見つけたりするなど、教育委員会が一緒になって地域展開できる環境づくりに努めていきたい。

防災士について

Q 各自治会に最低1名の防災士を目標にしているとのことだが充足率は。

A 全90の自治会に対して42自治会に防災士が存在しており、充足率は約47%となっている。また、令和6年度に防災士養成講座を受講された防災士50名の内、27名が防災士会に加入していただけた。

(企画部長)



(企画部長)

A 主な取組として、避難所運営訓練を通して地域に根差した防災啓発活動を行うなど、自主防災組織や市と密接に連携し、地域ごとの特性に応じた防災対策を共に構築してきた。今後も瑞穂市防災士会と地域住民、行政が一体となり、自助・共助・公助の理念に基づいた防災体制の強化を図っていききたい。

議会活動日誌

5月

- 7～9日 市町村議会議員研修
- 13日 議会運営委員会
全員協議会
議会基本条例推進特別委員会研修部会
- 15日 中濃十市議会議長会議(美濃加茂市)
- 16日 令和7年第1回瑞穂市議会臨時会
議会運営委員会
- 19～20日 市町村議会議員研修
- 20日 全国市議会議長会定期総会(東京都千代田区)
- 21日 市議会議員共済会代議員会(東京都千代田区)
- 29日 議会運営委員会
全員協議会

6月

- 3日 議会運営委員会
- 6日 令和7年第2回瑞穂市議会定例会(初日)
全員協議会(議案説明)
- 12日 議会運営委員会
- 16日 令和7年第2回瑞穂市議会定例会(総括質疑)

6月

- 17日 産業建設委員会・協議会
- 18日 文教厚生委員会・協議会
- 19日 総務委員会・協議会
- 23日 令和7年第2回瑞穂市議会定例会(一般質問)
議会基本条例推進特別委員会
- 24日 令和7年第2回瑞穂市議会定例会(一般質問)
議会運営委員会
- 25日 令和7年第2回瑞穂市議会定例会(一般質問)
- 27日 令和7年第2回瑞穂市議会定例会(最終日)
議会広報編集委員会

7月

- 3日 議会運営委員会
- 15日 議会広報編集委員会
- 16日 岐阜県市議会議長会議(多治見市)
- 18日 議会基本条例推進特別委員会研修部会
- 30日 議会広報編集委員会
- 31日 地方議会セミナー(議会広報編集委員会)

水防訓練 牛牧排水機場完成式典



今木議長 あいさつ

令和7年5月31日に牛牧排水機場の完成式が開催されました。近年の激甚化、頻発化する犀川流域の内水被害の軽減を目的として着工された牛牧排水機場が果たす役割は大きいと思われます。この式典には議員も招待頂き、多数の議員が参列し、排水機場の機械室より説明を受けました。



水防訓練の様子



牛牧排水機場

令和7年6月8日に瑞穂市水防訓練が実施されました。今回の訓練は台風が美濃地方に大雨をもたらし、長良川・忠節で出動水位の3.5mを超えたため、瑞穂市は水防団を招集し厳重な水防体制に入るとともに、水害軽減のため応急対策を実施するというものでした。「シート張り工」「月の輪工」「積み土のう工」「改良積み土のう工」「現地対策本部設置」の訓練を多数の議員が見守りました。



令和7年第3回定例会日程(9月予定)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4 本会議 (初日・議案提案説明)	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16 本会議 (総括質疑・委員会付託)	17 産業建設 委員会	18 文教厚生 委員会	19 総務 委員会	20
21	22 委員会 予備日	23	24 本会議 (一般質問)	25 本会議 (一般質問)	26 本会議 (一般質問予備日)	27
28	29	30 本会議 (最終日・委員長報告 ・質疑・討論・採決)				

※日程は、変更になる場合があります。HPをご覧ください。

編集委員からひとこと

新しいメンバーによる最初の『議会だより』はいかがでしたか。今回は定例的な部分が多い紙面になりました。今後は市民と議会をつなぐ場としての紙面づくりを目指したいと思います。皆さまからのご意見をぜひお寄せください。

議会広報編集委員会

委員長 関谷 守彦
副委員長 横田 真澄
委員 今井 充子
宮川 頌健

